



発行所
宮城県小牛田農林高等学校内
宮城県学校農業クラブ連盟



県連農ク会長 小澤 輝

「栄光をたたえて」

はじめに、今年度もこのように FFM を発行することができました。た、お忙しい中、原稿依頼を快く引き受けてくださった皆様のご協力に御礼申し上げます。

さて、今年度を振り返ってみますと、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザなどもまだ騒がれている中で、代議員会や各種発表会、競技会などの行事も無事すべて対面で行うことができました。今年度の農業クラブ活動を見て、年度委員などでは去年度よりも内容の濃い活発な意見交換や話し合いができたと感じています。それぞれの学校の取り組み方や活動内容が異なり、面白い視点やその学校の特色あることなども知れ、とても良い有意義な時間でした。また第一回の代議員会の際には本校の農場案内をさせていただき、他校の方からもとても興味を持ってもらうことができ、お互いにどのような環境下で実習をしていたりするのかも知れるという場を提供でき良かったです。他校の方からも好評で、また案内する本校の役員も新たな発見や他校の人とのコミュニケーションが気軽に取れる良い時間になったと思うので、来年度以降も続けて行つてほしいと思います。

県にある「あきた白神体験センター」という施設で行われました。東北連盟のクラブ員約四〇名が参加し名刺交換から始まり、ユニカールという交流活動を行いました。そして天気も心配される中ではあり、予定も大幅に変更なりながらも海水浴などで仲を深め、三つのグループに別れ「スマート農業や農業経済などの知識を用いて、若い世代に興味をもってもらうためにどのような活動をしていくべきか」というテーマで分科会を行いました。そこで農業や農業高校、農業クラブについて興味を持ってもらうことや、SNSによる発信やイベントを増やしたりする意見も出たりなど、活発な話し合いができた三日間でした。

また、秋田県で開催された、第七十五回日本学校農業クラブ東北連盟大会秋田大会で宮城県連盟の宮城県農業高校さんを始め、同じ東北ではありましたが岩手県で開催された、第七十五回日本学校農業クラブ全国大会令和六年度岩手大会へと駒を進めそこでもと名を馳せていただいたことをとても誇りに感じます。この全国大会で宮城県農業高校さんの意見発表会Ⅰ類とⅡ類、プロジェクト発表会Ⅰ類とⅢ類で最優秀賞など発表部門六分の四を宮城県から受賞するという大変輝かしい功績おめでとうございます。またプロジェクト発表Ⅰ類の「Re・温故知新」は今回三冠とのことでとても驚きました。他県の県連会長なども宮城県の発表はさすがと驚きと感動をいただきました。皆さんの努力を重ねられた成果に感謝を受けました。また、この場を借りて感謝申し上げます。惜しくも悔しい思いした方もいることと存じます。私は今回宮城県連盟の代表として県大会や東北大会、全国大会などを通し、様々な発表などを聞き、たくさんのことを学びました。そして、宮城県連盟プロジェクト発表会に参加させていただきましたが、入賞することができずとても悔しい思いをしました。ですが、会長という役職で大会などに参加した皆さんの



「失敗を経験に」
宮城県連盟成人代表 宮城県小牛田農林高等学校 校長 長内 志郎

ことを学ぶことができました。来年度の全国大会は西関東で山梨県が主担当で、東京都、神奈川県の一都二県での合同開催となります。今年度の輝かしい成果、またそれ以上の成果を得られるように願っております。

最後に今年度も無事に全ての行事や各種大会を開催するにあたり、宮城県連盟の単位クラブ会長さんをはじめとする役員並びにクラブ員のみならず、成人代表や顧問の先生方の多大なご指導、ご支援、ご協力をいただきましたことに心より御礼申し上げます。高校三年間で農業クラブの活動を通じて得た経験は私たちの今後の人生の糧になります。こんなに素晴らしい農業クラブをみなさんと運営できたことをとても誇りに思います。最後になりますが、今後の宮城県学校農業クラブ連盟のさらなる活躍に祈念いたします。

今年度、宮城県学校農業クラブの各種競技会等にあたり、御尽力いただきました関係団体の皆様、審査員の皆様、運営担当校の先生方、クラブ員の皆様にあつた感謝申し上げます。選手の方々が互いの技術を競い、自らの考えや研究成果を堂々と発表する姿を拝見させていただき、農業の魅力や大切さを再発見するとともに、農業を学ぶ皆さんの逞しさと、頼もしさを感じました。選手の方々のこれからの努力をたたえ、頼もしい気持ちで応援させていただきます。六月の平板測量競技会から始まり、農業情報処理競技会、意見発表会、家畜審査競技会肉用牛の部、家畜審査競技会乳用牛の部、そして十二月のプロジェクト発表会まで、滞りなく競技会を終えられたことは喜ばしい限りです。生徒の皆さんの御協力に改めて感謝を申し上げます。有り難うございました。

さて、十月二十三・二十四日に岩手県を会場に行われた第七十五回日本学校農業クラブ全国大会では、プロジェクト発表会Ⅰ類で宮城県農業高等学校の「Re・温故知新」が分野では三年連続の最優秀賞、Ⅲ類で「炭の錬金術師」が最優秀賞を獲得しました。意見発表会においては、宮城県農業高校がⅠ類「次世代につながるバトン」粗飼料生産で支え合う地域の畜産

「Ⅱ類」世界最悪の気候犯罪者」の題でそれぞれ最優秀賞を獲得、この東北の地で、全国的にも注目される輝かしい結果を残しました。また平板測量競技会では加美農業高等学校が優秀賞、農業鑑定競技会野菜の部では宮城県農業高等学校の生徒さんが優秀賞をそれぞれ受賞しました。

受賞されたクラブ員の皆様、指導をいただいた先生方、支えくださった関係者の皆様にあつたため感謝いたします。

今年度も昨年同様猛暑となり、自然と向き合いながら生命に直接はたらきかける農業の難しさ、そして尊さを感じる一年となりました。古き良き教えを守りつつ、環境への配慮や、安全・安心への取り組み、ICT技術の活用など、社会情勢を掴み、新しい技術や手法を取り入れながら、まさに「温故知新」の考えのもと、課題解決を進めながら生命と直結する農業の実践はこれからも続いていくのです。偉大な研究も、クラブ員の皆さんが日頃取り組んでいる農業専門科目の授業や実習、課題研究の取組の中で感じた「疑問」や「気づき」といった小さな課題から始まります。そして今回の研究の出発点のように、時には「失敗だ」と思ったことが次への大きなステップになることもあります。失敗も貴重な経験です。経験を通して学んでいくプロジェクト学習の原点を常に意識しながら、そしてひとつひとつ新たな課題へと挑戦し、各種競技会で結果を残すことだけではなく、自分自身の知識、技術の向上、そして人間としての成長へとなつていきたいと思います。

これから県内各単位クラブで連携をとり、お互い切磋琢磨しながら活動するとともに、地域の方や指導して下さる先生方、そして何よりお互いの協力し合うことのできるクラブ員の仲間への感謝の気持ちを忘れず、一致団結して農業クラブの魅力向上と、さらなる発展につなげていきたいと思います。

大会スローガン

最優秀賞

「若人よ 耕せ日本の未来」

小牛田農林高等学校

農業技術科農業科学コース 二年

車塚 颯太

優秀賞

「伊達にやらない 未来へつなぐ」

持続可能な農業革命」

宮城原農業高等学校

農業科 三年 星 碧虎

「我がが創る 自然に生きる 宮城の緑」

巨理高等学校 食品科学科 一年 山田 瑠真

令和六年度 各種発表会

および競技会成績一覽

◎…最優秀賞 ○…優秀賞 ☆…特別奨励賞

プロジェクト発表会

十一月十九日(木) 宮城県農業高等学校

◆分野Ⅰ類「農業生産・農業経営」

旨味と地域への想いを長期保存！

～加美農野菜で学校間連携の商品開発～

菅原 文乃 他5名(加美農業)

○加美農アップルサイクル 新商品の開発

と展開～新たな草生法 見守りBean

sプロジェクトで地域活性化～

千石 秀寿 他8名(加美農業)

未利用資源「ヨシ」の水稲への活用

佐々木 司虎 他2名(南郷)

大張沢棚田を絶景に だて正夢の挑戦

石塚 清玲 他8名(伊具)

○メーブルシロップがつなぐ甘い関係

佐藤 誌吹 他3名(柴田農林)

ロッサビアンコを野菜班の名産にしよう

～活動の幅を広げるために～

曾根 弘樹 他7名(小牛田農林)

○Re…温故知新～肥料削減の取組み～

阿部 快海 他9名(宮城農林)

◆分野Ⅱ類「国土保全・環境創造」

○世紀を超えてよみがえれ！バブルの力で

ハマボウフウを広めよう

～国土の保全と自生地復活を目指して～

佐藤 にこり 他9名

(柴田農林・大河原産業)

HM3ストーブの制作～加美農業高校と

本橋製作所が連携した商品開発への道～

早坂 康介 他3名(加美農業)

○炭の錬金術師

～パイオ炭による環境保全～

庄子 怜未 他9名(宮城農林)

水を使わなくとも米はできるのか

MYCOS Dry Direct

Seeding RICE

Challenge

高橋 天 他5名(小牛田農林)

◆分野Ⅲ類「資源活用・地域振興」

○メンマから未来へ繋げる～竹林の新たな

価値～

阿部 莉世 他4名(宮城農林)

千年の礎～未来へのアプローチ 一目千

本校再生プロジェクト

三上 恋 他5名(柴田農林)

◎桜色の未来

山本 柚花 他9名(宮城農林)

THE Beautiful Rice

～3つのSが明日を換える～

角田 直優 他7名(加美農業)

意見発表会

七月四日(木) 大河原産業高等学校

◆分野Ⅰ類「生産・流通・経営」

今後の未来の農業！

泉 海偉 (加美農業・農業)

祖父の背中を追いかけて

佐々木 混太 (柴田農林・園芸)

石巻の農業と農業法人

渡辺 愛音 (石巻北・総合)

◎次世代につなぐバトン～粗飼料生産で支

える地域の畜産～

南條 匠極 (宮城農業・農業)

食品加工の力

高橋 健太 (巨理・食品)

○担い手不足をチャンスと捉えて

鹿野 奏生 (小牛田農林・農技)

○飴から芋だこと

後藤 夕夏 (登米総合・農業)

梨と歩む道

佐藤 瑛多 (大河原総合・農業)

◆分野Ⅱ類「開発・保全・創造」

インターシップを通して感じたこと

～スマート農業から考える国土保全～

千葉 芽衣 (登米総合・農業)

産業を守る

岡崎 良太郎 (大河原総合・環境)

私たちができるSDGsへの挑戦

渡邊 重皓 (小牛田農林・農技)

○未来の食に

小野 心愛 (柴田農林・食農)

○私たちがめざす農業のかたち

熊谷 悠吾 (加美農業・機械)

◎世界最悪の気候犯罪者

星 碧虎 (宮城農業・農業)

◆分野Ⅲ類「ヒューマンサービス」

○放置竹林と私～愛島タケノコの新たな魅

力～

齋藤 如 (宮城農業・生活)

いただきます

橋元 夏那 (巨理・食品)

◎北高の地域交流と活性化

阿部 博 (石巻北・総合)

大崎市農業女性委員会の一員として想うこと「イノシシの利用法」

大友 柚季 (小牛田農林・農技)

蔵王の未来は私たちにかかっている

小室 光毅 (大河原総合・農業)

大張沢尻棚田より心をこめて

芳賀 瑛璃花 (伊具・総合)

◎起業への挑戦

吉野 陽和 (登米総合・農業)

加美農での経験

遠藤 真涼 (加美農業・農業)

独りじゃないから

三上 恋 (柴田農林・園芸)

平板測量競技会

六月二十五日(火) 加美農業高等学校

柴田農林 A

佐藤慎之助・日下 智幸・吉田 滯

大河原産業・柴田農林

佐藤ひなた・寺島 結衣・水戸 達喜

◎宮城農業 A

星 晴斗・平野 蒼大・三浦 健太

宮城農業 B

横井 蒼志・高橋 颯太・武川 昊雅

◎加美農業 A

阿部 汐恩・今野 統也・佐藤 大介

◎小牛田 A

尾形 茅愛・中條 裕太・村上 莉音

小牛田 B

橋本 瑛太・藤本 操音・由利 佑

農業情報処理競技会

七月十一日(水) 伊具高等学校

加美農業 岡野 秀昭・角田 直優

柴田農林 伊東 優・菅原 拓斗

小牛田 ◎佐藤 璃奈・○岩淵 亮汰

南 郷 高橋 もえ

登米総合 ○八乙女 星

宮城農業 中村 瑞姫・大西 真瑚

巨 理 佐藤 里菜・山崎 心咲

家畜審査競技会 (肉用牛の部)

七月三十日(火) みやぎ総合家畜市場

南 郷

○岩井 大空・栗田 海・渡邊 真煌

伊 具

渡邊 海斗・吉田 蒼生・八巻 ほのか

小牛田

池田 徳玖・地紙 悠真・渡邊 重皓

柴田農林

志賀野 陽生・鈴木 琴音・藤武 陽和

大河原

小室 咲羽・八巻 さくら・鈴木 矜矢

◎宮城農業

◎南條 匠極・○熊谷 美心・阿部 一咲

◎加美農業

大場 幸助・鈴木 亜紀奈・狩野 力輝

◎登米総合

堀内 智綺・小川 椋穂・○只野 穂乃香

家畜審査競技会 (乳用牛の部)

九月二十五日(水) みやぎ総合家畜市場

登米総合

○加美山 瑠七・堀内 智綺・小川 椋穂

伊 具

渡邊 海斗・吉田 蒼生・八巻 ほのか

◎加美農業

大場 幸助・鈴木 亜紀奈・○狩野 力輝

小牛田

車塚 颯太・佐々木 遥杜・鈴木 翔太

宮城農業

全国大会岩手県で開催

受賞者

◆プロジェクト発表会分野Ⅰ類「農業生産・農業経営」
最優秀賞 (農林水産大臣賞)

Re..温故知新 阿部 快海 他九名 (宮城県農業高等学校)

◆プロジェクト発表会分野Ⅲ類「資源活用・地域振興」
最優秀賞 (文部科学大臣賞)

炭の錬金術師 庄子 怜未 他九名 (宮城県農業高等学校)

◆意見発表会分野Ⅰ類「農業生産・農業経営」
最優秀賞 (農林水産大臣賞)

次世代につながるバトン〜粗飼料生産で支え合う地域の畜産〜

南條 匠極 (宮城県農業高等学校)

◆意見発表会分野Ⅱ類「国土保全・環境創造」
最優秀賞 (文部科学大臣賞)

世界最悪の気候犯罪者 星 碧虎 (宮城県農業高等学校)

◆平板測量競技会
優秀賞 阿部 汐恩・今野 統也・佐藤 大介 (加美農業高等学校)

◆農業鑑定競技会「野菜」
優秀賞 水谷 彩花 (宮城県農業高等学校)

○南 郷

菊池 美里・長里 日千花・◎齋 真優

大河原

岩井 大空・高橋 もえ・栗田 海

☆柴田農林

齊藤 羚・鈴木 矜矢・佐藤 陽生

○佐藤 向日葵・佐藤 唯・萩原 愛音

FFJ上級位検定

伊 具 三名

小牛田 三十七名

宮城農業 九名

大河原 七名

合計 五十六名

全国大会プロジェクト発表会
I類で最優秀賞を受賞して



宮城県農業高等学校
阿部 快海

私は十月二十二日、二十四日にかけて行われた全国大会を振り返って、「初めての挑戦」が多く、それが自分自身にとって一番の経験値になったと感じています。東北の代表としての想いを胸に、これまで練習してきたことやこの研究の成果について自信を持って発表しました。結果として最優秀賞と農林水産大臣賞を受賞することができました。質疑応答がうまく出来ずに心残りがありましたが、日本一を掴むと同時に自分たちの夢であった大会三連覇をすることが出来て、安心と嬉しさがとても込み上げてきました。

「初めての挑戦」をすることは私にとって大きな変化を与えてくれました。プロジェクト発表は意見発表のように一人で発表するのではなくチームで発表するためそれぞれ練習が大切です。誰か一人でも欠けてしまうと発表が成り立たなくなってしまうので、全国大会に向けてプレッシャーがある中、意識を高く持って行動がしてきたことが今回の結果に繋がったのだと思います。後輩五人もこの経験が来年に生かせるものになったと感じているので、来年に期待したいと思います。また、それを支えて下さった山根先生と須田先生にはとても感謝しています。

全国大会プロジェクト発表会
III類で最優秀賞を受賞して



宮城県農業高等学校
高橋 愛優

「二人が手を抜くと誰かの思いを踏みにじることになる。」この言葉は、去年の同じ会場で行われた東北大会で負けた時、山根先生からかけられた言葉です。甘い気持ちで臨んだ自分が情けなくて涙しました。

今年、全国大会当日は笑顔でやり切ることを目標に、足がすくむこともありました。泣いても笑っても後悔しないように自分を奮い立たせました。私たちの出番が来たときは、きつとどうにかできると確信していました。

結果は最優秀賞。全ては素敵な後輩と先生方のおかげです。「一人が手を抜くと、誰かの思いを踏みにじることになる。」そうならならいようにチーム一丸となつてまるとまる事が大切なんだと学びました。多くの方々に助けて頂いたからこそ、将来は私が困っている人がいたらすぐに気づいて行動できるようになろうと思っています。ご指導頂いた山根先生、須田先生そして仲間には心から感謝しています。辛いこともありましたが、挑戦を辞めなくて今では本当に良かったと思います。後輩の皆さんの活躍を心から願っています。

全国大会意見発表会 I類で
最優秀賞を受賞して



宮城県農業高等学校
南条 匠極

良い牛は、良い粗飼料から作り出されると私は考えています。それは子牛、肥育牛も同じだと思います。子牛価格が暴落していて、繁殖農家さんを助けたい、持続可能な畜産を志したいと強く思い、この意見を発表しました。

全国大会当日は、控室で周りの発表者の方とコミュニケーションをとりました。「がんばりましょう！」と発表者みんな一致団結したことが力になったことを覚えていています。「私の発表を多くの方に聞いてほしい」その思いが気持ちよく発表をすることができました。質疑応答では牧草地の更新方法や、安価な粗飼料をどのように普及して行くかなどの質問に対し、明確に答えることができました。私の意見をより審査員の方々に伝え理解していただくことができたのではないかと感じました。

結果発表当日、式典会場のスクリーンに私の名前が映し出され、多くの方が拍手でたたえてくれた光景は昨日の事のように鮮明に思い出すことができます。私の粗飼料づくりに対する思いはとても強くなりました。

私は仙台牛というブランドを全国に広め、家庭の食卓に彩りを与え、皆様から愛される仙台牛をつくりたいです。

全国大会意見発表会
II類で最優秀賞を受賞して



宮城県農業高等学校
星 碧虎

夏場は耳を覆いたくなるほど異常気象の話ばかりで「地球温暖化対策に必ず一手を打つ」という強い闘志がこみ上げてきました。

気象庁の統計によると、日本でもこの百年で平均気温が一度以上上昇しているというのですが、その聞いて驚く人がどれくらいいるのでしょうか？ たった一度、私自身も大きな災害に見舞われなくても、そう真剣に考えないかもしれないですが、そこに大切な牛が関与するとなると、黙ってはいられません。

昨年出場した意見発表では、残念ながら東北大会で涙のみ、全国大会出場を目指して、この一年必死に模索し、牛のための成果として得られるものを考え続け、研究を続けてきました。

そうして挑んだ今年度の意見発表は、県大会、東北大会を順当に勝ち上がり、前回のリベンジとなる全国大会出場を果たし、さらには最優秀賞である文部科学大臣賞を受賞することができました。

この輝かしい結果はもちろんです、私の牛たちへの深い愛と、誰にも負けない強い誠意の起こした奇跡の賜物であり、これから畜産家として歩んでいく私の道しるべとして、背中を押してくれていることと期待しています。

全国大会農業鑑定競技
野菜の部で優秀賞を受賞して



宮城県農業高等学校
水谷 彩花

今年には校内選抜の感覚を忘れないうちに勉強しようと思いい、結果として去年より二ヶ月ほど早く勉強を始めていました。しかしそれでもあつという間に時間が足りなくなりました。最優秀賞を目指し、教科書を隅々まで見て少しでも出題範囲と関係するものは全てまとめるという方法をとったため、後輩と手分けしてまとめたとはいえ、必要な時間がこれまでの比ではなくなりました。そのため、ChatGPTに出題範囲を入力して問題を出してもらいながら、効率的な方法を探しながら勉強しました。予定していたほどの対策やまとめはできませんでしたが、時間がないうなりに要点を意識しながら勉強ができたように思います。

私は、入学したばかりのときは出題範囲のうち八割は名前も知らない状態でした。ジャガイモは種から育てると思っていたり、キャベツとレタスの見分けがつかなくなったりというレベルから始まりましたが、今こうして実績を持つことができています。それだけの環境が、宮農には整っているのだと思います。そんな環境を作り、時には応援までしてくれた先生方や友人、そんな環境で学ぶことを許してくれた家族に心から感謝します。

鑑定競技についてまとめたものは学校のパソコンにたまっていきます。これらを活用することで、今後は勉強時間を短縮しやすくなると思います。私を超える人が宮農から生まれることを期待しています。

全国大会平板測量競技会で優秀賞を受賞して



加美農業高等学校
阿部 汐 恩

私たちは二年生の春頃に先生と友達からの誘いで平板測量を始めました。まずは一次作業の練習から始まり、簡単な図形を描いたり測量針を正確に刺せるようにするなどの練習し、六月下旬に行われる県大会に向けて練習しました。しかし、県大会では優秀賞に入ることができませんでした。

この悔しい思いを糧に三年生では良い結果を残せるように春頃から練習を始めました。二年生の時に気づかなかった仲間と話し合い、協力し合う力が大切なことを知り、それらを意識して練習をしました。そして県大会、私たちは今まで練習した事を発揮できるように全力で挑みました。その結果、最優秀賞に入賞と全国大会出場権をいただくことができました。

次は東北大会に向けて、今まで以上に速く正確にできるように練習をしました。東北大会ではどんな図形になるか分からないので

色々なパターンの図形を練習して対応できるように頑張りました。八月に行われた東北大会は参加チーム数が多く県大会とは雰囲気の違い緊張しましたが優秀賞に入ることができました。全国大会の練習は今まで以上に複雑で難しい図形で練習をしました。仲間と話し合いミスを減らし入賞できるように精度を上げ全国大会に挑みました。結果は目標にしていた優秀賞に入ることができました。全国大会は参加チームが今まで以上に多くとても緊張しましたががいつも通りの作業をする事ができたので良かったです。最後に平板測量を通じて、話し合う力、自分の意見を言う力、忍耐力など学校だけではなく社会に出てでも使う大切な事を学んだと思います。この貴重な経験を忘れずにこれからの生活に活かしていきたいと思えます。



第1回代議員会集合写真

秋田県で東北大会開催

東北大会プロジェクト発表会で優秀賞を受賞して



宮城県農業高等学校
譜久原 翼

八月二十七日秋田県で行われた

◆プロジェクト発表会

分野Ⅰ類「農業生産・農業経営」
最優秀賞 Re..温故知新

阿部 快海・大西 真瑚・鈴木 傑心 他七名(宮城農業)

分野Ⅱ類「国土保全・環境創造」
優秀賞 被災地での桜の開花を目指して

譜久原 翼・山本 柚花 他八名(宮城農業)

分野Ⅲ類「資源活用・地域振興」
最優秀賞 炭の錬金術師

高橋 愛優・皆川 快葵・庄子 怜未 他七名(宮城農業)

◆意見発表会

分野Ⅰ類「農業生産・農業経営」
最優秀賞 次世代につなぐパトン

粗飼料生産で支え合う地域の畜産

分野Ⅱ類「国土保全・環境創造」
南條 匠極(宮城農業)

最優秀賞 世界最悪の気候犯罪者 星 碧虎(宮城農業)

分野Ⅲ類「資源活用・地域振興」
優秀賞 北高の交流活動と地域活性化

阿部 博(石巻北)

◆クラブ活動紹介発表会

M I S S I O N W A T A R I ~来たれ!農業若人~

優秀賞 本田 実愛・森 颯 他一名(巨理)

◆平板測量競技会

優秀賞 阿部 汐恩・今野 統也・佐藤 大介(加美農業)

◆農業情報処理競技会

優秀賞 佐藤 璃奈(小牛田農林)

農業クラブ東北大会連盟大会分野Ⅱ類で「被災地での桜の開花を目指して」というテーマで発表を行いました。七月に入ってから、昨年八月から毎日欠かさず記入していた研究データを用紙にまとめ、部員全員が協力して記録簿を作成しました。

私は今回代表者であるため発表や質疑応答を行いました。質疑応答は初めてなのでとても不安でした。そこで、昔の記録簿などを振り返り一から学習し直しました。それからは、発表練習のたびに部員や顧問の先生に質問してもらい練習をしました。また、忙しい中OBの先輩方や元顧問の尾形先生などがいらしてくれ、発表のアドバイスや質疑応答の練習にも付き合ってくれました。

そして当日私たちの発表順番は七グループ中一番目でした。ステージの上で緊張がありました。とは全然違う緊張がありました。ですが落ち着いて発表を行うことができました。練習の成果を生かすことができました。

大会の結果は優秀賞と、目標としていた全国大会出場は叶いませんでしたが、一人一人が協力してとても良い発表にすることができました。充実した三年間でした。これまでお世話になったたくさんの方々には感謝の気持ちでいっぱい。最後まで付き合ってくれたみんなや顧問の先生には感謝してもしきれません。本当にありがとうございました。

東北大会意見発表会Ⅱ類で
優秀賞を受賞して



石巻北高等学校
阿 部 博

私は、宮城県大会で最優秀賞を受賞し、秋田県大曲市で開催された東北大会に出場することができました。

私は宮城県の代表として恥じることはないよう沢山練習を重ね、県大会以上に発表できるよう頑張りました。発表は今まで練習を重ねたことで自信を持った発表ができました。結果は目標としていた最優秀賞を獲得することができました。東北大会のレベルの高さを痛感しました。出場者の発表を聴いて、他校の取り組みや農業に対する熱い思いを持つて取り組んでいる人がいることを知りました。私もこれから取り組むことはまだまだたくさんあると思います。

意見発表会を通して、農業に対する考えや将来について考えを深めることができました。意見発表に取り組んだ日々は学校生活でもとても充実した時間となりました。意見発表会の経験を今後社会に出ても活かしていきたいと思えます。指導していただいた先生方、応援してくれた皆さんに感謝いたします。ありがとうございました。

東北大会農業情報処理
競技会で優秀賞を受賞して



小牛田農林高等学校
佐 藤 璃 奈

私は、三年生に進級した春頃、先生から「情報処理競技会に参加してみないか。」と声をかけていただき、どんなものか分からないけれど経験として挑戦することに決めました。エクセルの使い方が詳しく分からない状態からの挑戦だったので不安が沢山ありましたが、やるからには最優秀賞を取りたいという思いがあったので放課後や空き時間を使いひたすら練習に励みました。結果は県大会で最優秀賞、東北大会で優秀賞をいただくことができました。初めて挑戦したことで結果を出せたことに喜びを感じるとともに私にも努力をすれば結果を出せるのだという自信に繋がりました。何事にも一番を目標に取り組んできたので東北大会での結果はとても悔しいものでしたが、先生のお誘いを断らず挑戦し、農業情報処理を通じて様々な経験ができて良かったです。最後まで応援していただいた先生方、本当にありがとうございました。



日本学校農業クラブ連盟
マスコットキャラクター
「のうくっく」

東北大会クラブ活動紹介
発表会で優秀賞を受賞して



巨理高等学校
本 田 実 愛

私が今大会で頑張ったことは、巨理高校の魅力を大勢の方々に知ってもらうことです。これまでたくさんの方々の前で話すことはあったものの、今回のような他県の生徒や審査員の方々の前で発表したことは初めての経験となりました。

私はもともと大勢の前で話すことが苦手でしたが、このような機会を設けて下さったからには頑張るしかないと思い、意を決して東北大会までどのようにすれば巨理高校の魅力が伝わるか、たくさん準備して練習をしてきました。

本番では、緊張もしましたが、頼りになる仲間と協力して巨理高校の魅力を存分に紹介できたと思います。

この経験から、この先就職して上司の人へプレゼンする機会が必ずやってくると思います。その時は今回の東北大会の経験を思い出して、活躍して行きたいと思っています。



東北大会シンボルマーク

県連行事に参加して
意見発表会で優秀賞を受賞して



登米総合産業高等学校
吉 野 陽 和

私は、課題研究の授業で取り組んでいる内容や将来やりたいことについて発表しました。毎年春休みの課題として意見発表の作文が出されますが、一、二年生の頃は農業について深く考えたことがなく、上手に作文を書くことができませんでした。しかし、三年生になってから農業について考える機会が増え、自分の考えを作文にまとめてみようと思うようになりました。文章を書くことが得意ではない私は、先生の助けを借りながら作文を完成させました。また、発表に向けては、先生が読み方の練習を見てくださり、イントネーションや感情の込め方を教えてくれました。そのおかげで、本番では審査員の方々に自分の考えをしっかりと伝えることができました。今回の大会を通じて、今の日本の農業がどのような状況にあるのかを知ることができました。また、自分の将来の目標を多くの人の前で発表できたことで、その夢を実現したいという思いがさらに強まりました。これからは農業に携わり続け、目標に向かって努力していきたいと考えています。

私は、農業系列二年次から大沢沢尻柵田での実習を行ってきました。私は非農家で、柵田での経験は初めてのものばかりでした。特に、足場が悪い高所での除草や手作業での収穫など貴重な体験を通して、農業の喜びと共に厳しさなど、多くのことを学ばせていただきました。その中で、柵田の壮大な美しい景色は、管理している農家の努力によって維持されていることを、身をもって体験しました。また、柵田を通して多くの出会いがあり、農業者だけではなく、ザンビア共和国などの国境を越えた交流もありました。農業を通じて、お互いを理解することで、コミュニケーション能力が身につく、自分の成長に繋げることができました。私は、この柵田実習を通して、自分の愛した景色を守る農家の努力を多くの人に伝えたいと思うようになりました。

この思いを多くの人に届けたいと決意し、意見発表大会に出場しました。私は、人前で発表することが苦手ですが、柵田実習でお世話になった方々への感謝の気持ちを含めて、意見発表することができ、達成感がありました。この経験を通して得たものを社会人で活かし、私も農業を支える人材を目指して頑張りたいです。



伊具高等学校
芳 賀 瑛 璃 花

県意見発表会に出場して



大河原産業高等学
佐藤 瑛 多

入学したばかりで「農業クラブ」とは何か? 「意見発表会」はどのようなものか? など、何も分からないまま選ばれたのが、始まりでした。

校内予選が近くなると、担当の木幡先生がつきっきりで自分が書いた文章を崩しては足す日々が続きました。文章表現の解像度を上げるため、本やネットで調べたり、同じ文章を表現を変えて何度も書き直す等、正直過酷だと感じました。しかし、先生も発表を更に良いものにしてと尽力してくれたことで、私自身も「もつと良い発表にしたい」という気持ちが芽生えました。

校内予選当日、クラスの皆が背中を押してくれ、沢山の人のおかげで校内二位となり、県大会の切符を手にすることができました。県大会までは発表練習を重点的に取り組みました。当日は、自分以外の発表者が皆堂々とした表情をしており、緊張の高まりを抑えられませんでした。自分の番が来た時、プレッシャーに押しつぶされそうになりましたが、これまで皆がかけてくれた言葉を思い出し、最後まで発表できました。

結果は東北大会に出場することはありませんでしたが、悔しい気持ちもありましたが、私にとって、とても貴重な経験になりました。この経験を糧に、来年も出場できるように頑張りたいと思います。

県家畜審査競技会
肉用牛の部に出場して



南郷高等学校
岩井 大 空

最初は牛のことはあまりわかりませんでした。私は先生に「競技会に出場してみないか? 」と言われた時はとても不安でした。対策プリントで勉強しましたが全くわからないまま畜産市場に向かい牛を見た瞬間、大きい牛や小さい牛までいろいろな大きさの牛が目に入りました。いざ試合が始まったら、まずできるだけ背中が直線な牛と体の大きい牛を比べました。見れば見るほどみんな同じ牛に見えてきて、私は自信を無くしました。友達に聞いても全くわからなかったと言っていました。お昼には牛肉を使った弁当と牛乳を使ったカフェオレをいただきました。とてもおいしかったです。

その後に結果発表がありました。私は全く自信がないと思っていたため、絶対に名前を呼ばれる事はないと思っていました。団体の結果発表が終わった後、最優秀賞の発表が始まりました。なんと名前を呼ばれた個人の結果は二位だったのです。自分は言葉の失いながら賞状を受け取りました。まさか二位になれるとは思っていませんでした。

今年、柴田農林高校最後の生徒として家畜審査競技会乳用牛の部に出場できたことをとても嬉しく感じています。昨年も学校代表として出場し、会場では、どの牛もキレイな体格をしており、順位をつけるのが難しく、選ぶのにも時間もかかりました。未経産牛から経産牛まで部類ごとに順位をつけました。当時の家畜審査競技会では、納得のいく順位をまだ出したことがなかったので、自分が納得できる順位を出せるように乳牛の体格についてさらに勉強をしました。

県家畜審査競技会乳用牛の部で
特別奨励賞を受賞して



柴田農林高等学校
萩原 愛 音

今年、柴田農林高校最後の生徒として家畜審査競技会乳用牛の部に出場できたことをとても嬉しく感じています。昨年も学校代表として出場し、会場では、どの牛もキレイな体格をしており、順位をつけるのが難しく、選ぶのにも時間もかかりました。未経産牛から経産牛まで部類ごとに順位をつけました。当時の家畜審査競技会では、納得のいく順位をまだ出したことがなかったので、自分が納得できる順位を出せるように乳牛の体格についてさらに勉強をしました。

結果は、団体特別奨励賞で、個人の部では奨励賞という形でした。個人の結果はあまり納得いきませんでした。柴田農林最後の団体で特別奨励賞を受賞することができて本当によかったです。今回の乳用牛の家畜審査に柴田最後の三年生として、私たちを出させてくれた先生方、家畜審査競技会の運営の方々、そして一緒に出場してくれたチームのみんな全

ての方々に感謝しています。特別奨励賞を受賞できて本当に嬉しく思います。これからの数少ない学校生活を多くの人への感謝の気持ちを忘れずに一日一日を大切に過ごしていきたいです。

代議員会に参加して



迫桜高等学校
岩 淵 美 咲

二年次から迫桜高校アグリビジネス系列の会長として代議員会に参加してきました。まず、代議員会では各学校での農業の取り組みやイベントなどの発表から始まり、オリエンテーションを行い議員同士のコミュニケーションを取りました。また代議員会の会長、副会長などの役割決め、これからの農業についてなどの話し合いを行ってました。学校ごとに行っている行事や特色ある授業など自分の学校とは違う部分を知ることができ自分の学校での活動に生かしていきたいと思う考えがたくさん生まれました。

また、代議員会の役割決めでは役職ごとに担当高校を決め、話し合いの末に農業クラブ委員を選出することができました。生徒主体での活動だったため、お互い緊張しつつも話しているうちに打ち解けて積極的に話し合いが生まれました。代議員会に参加して、各農業高校の活動や思想、目標などを知ることができ、自分の学校に足り

ないところや工夫していきたい所をたくさん学べる場になったと思います。これからは農業に関心を抱いている生徒が主体的に活動し、農業の発展、振興に努める活動をしていきたいと思いました。

リーダー研修会に参加して



本吉響高等学校
菅原 和 樹

私は、十二月二十六日に宮城県小牛田農林高校でおこなわれたリーダー研修会に参加しました。初めて顔を合わせた人ばかりだったこともあり、上手く会話ができたか心配でした。初めにおこなった生徒同士での名刺交換により少しずつ打ち解けることができました。その後におこなわれた各高校からの学校紹介では皆さんに好評いただき、他校の生徒からも直接褒めてもらうことができて嬉しかったです。

午後におこなわれた、農業経営ゲーム(農トレ)では、惜しくも二位という結果でしたが、他校の生徒と協力してできたことが一番良かったと思います。今回のリーダー研修会を通して各学校の生徒と交流を深めることができて良かったです。各学校でおこなっている取り組みを今後生かして農業学習に取り組みで行きたいと思っています。

今回のリーダー研修会を通して各学校の生徒と交流を深めることができて良かったです。各学校でおこなっている取り組みを今後生かして農業学習に取り組みで行きたいと思っています。

令和6年度 宮城県学校農業クラブ連盟会計収支中間報告書

事務局 宮城県小牛田農林高等学校
自 令和6年4月1日 収入総額 4,812,751円
至 令和7年1月6日 支出総額 3,370,395円
差引残高 1,442,356円

令和6年度 宮城県学校農業クラブ連盟 会務・事業報告

(1)関連事業 県連盟

Table with columns: 月日, 名称, 運営校(会場), 内容. Lists various events like 第1回代議員会, 第2回代議員会, etc.

(2)関連事業 東北連盟

Table with columns: 月日, 会務・事業名, 場所. Lists events like 第1回代議員会, 夏期研修会, etc.

(3)関連事業 全国連盟

Table with columns: 月日, 会務・事業名, 場所. Lists events like 春季代議員会, 全国大会岩手大会, etc.

(1)収入の部 (単位: 円)

Table with columns: 科目, 本年度予算額, 収入済額, 差額, 摘要. Lists income items like 繰越金, 会費, etc.

(2)支出の部 (単位: 円)

Table with columns: 科目, 本年度予算額, 支出済額, 差額, 摘要. Lists expense items like 事務費, 内訳, 内訳, etc.

令和6年度 宮城県学校農業クラブ連盟名簿

Table with columns: No., 高校名, クラブ員数 (男, 女, 計), 学級数, 校長名 (会長名), 顧問教師名. Lists member schools and their details.

令和6年度宮城県学校農業クラブ連盟役員

Table with columns: 役職, 氏名, 所属, 幹事, 氏名, 所属. Lists the board members and their roles.

Table with columns: 役職, 氏名, 所属. Lists the board members and their roles.